



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月28日

上場会社名 株式会社ファンケル 上場取引所 東
 コード番号 4921 URL <http://www.fancl.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 宮島 和美
 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 島田 和幸
 問合せ先責任者 グループサポートセンター長 TEL 045-226-1200
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日
 配当支払開始予定日 平成28年12月 5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	46,164	6.9	△601	—	△541	—	3,873	—
28年3月期第2四半期	43,192	18.2	116	△61.2	221	△47.3	127	△77.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 3,720 百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 135 百万円 (△76.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	61.77	61.01
28年3月期第2四半期	2.02	1.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	85,835	72,635	83.9
28年3月期	83,767	69,639	82.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 71,981 百万円 28年3月期 68,909 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
29年3月期	—	29.00			
29年3月期(予想)			—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭

平成29年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,000	9.0	3,000	149.1	3,100	118.0	6,200	—	99.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	65,176,600株	28年3月期	65,176,600株
29年3月期2Q	2,236,097株	28年3月期	2,553,377株
29年3月期2Q	62,699,532株	28年3月期2Q	63,299,074株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いたものの、個人消費は弱含み、消費者物価も低下傾向となるなど、停滞感の強い状況が続きました。先行きについては、各種政策効果もあり緩やかな回復に向かうことが期待されますが、海外経済の不確実性の高まりや円高の進行など景気の下振れリスクが台頭しており、留意すべき状況となっています。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、中期経営計画(平成28年3月期～平成30年3月期)の方針のもと、前期に引き続き戦略的な広告投資を実施したことなどにより全事業が増収となり、全体では46,164百万円(前年同期比6.9%増)となりました。増収により売上総利益が増加したものの、お客様基盤の拡大のために先行的な広告投資を実施したことなどにより販売費及び一般管理費が増加し、営業損失は601百万円(前年同期は116百万円の営業利益)、経常損失は541百万円(前年同期は221百万円の経常利益)となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益を計上したため、3,873百万円(前年同期は127百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は27,132百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

	平成28年3月期 前第2四半期連結累計期間		平成29年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	21,192	81.5	21,538	79.4	1.6
アテニア化粧品	3,419	13.2	4,167	15.4	21.9
boscia(ボウシャ)	893	3.4	986	3.6	10.4
その他	484	1.9	441	1.6	△9.0
合計	25,990	100.0	27,132	100.0	4.4

	平成28年3月期 前第2四半期連結累計期間		平成29年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	10,885	41.9	11,651	42.9	7.0
店舗販売	9,839	37.8	9,706	35.8	△1.3
卸販売他	2,053	7.9	2,622	9.7	27.7
海外	3,212	12.4	3,151	11.6	△1.9
合計	25,990	100.0	27,132	100.0	4.4

ファンケル化粧品は、「エイジングケア 洗顔クリーム」、「洗顔パウダー」のリニューアル、主力製品へのプロモーション効果、ドラッグストア向けの卸販売の伸長などにより、21,538百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

アテニア化粧品は、「スキんクリア クレンジング オイル」などの新製品効果に加え、好調な新規のお客様獲得によるお客様基盤の拡充などにより、4,167百万円(前年同期比21.9%増)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は11,651百万円(前年同期比7.0%増)、店舗販売は9,706百万円(前年同期比1.3%減)、卸販売他は2,622百万円(前年同期比27.7%増)、海外は3,151百万円(前年同期比1.9%減)となりました。

営業損益

損益面では、増収となったものの、前年同期に対しマーケティング費用を増加させたことなどにより、営業利益は1,642百万円(前年同期比36.6%減)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は15,431百万円(前年同期比12.1%増)となりました。

	平成28年3月期 前第2四半期連結累計期間		平成29年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	5,177	37.6	6,105	39.5	17.9
店舗販売	3,537	25.7	3,744	24.3	5.8
卸販売他	4,385	31.9	4,827	31.3	10.1
海外	667	4.8	754	4.9	12.9
合計	13,769	100.0	15,431	100.0	12.1

製品面では、プロモーションを展開した機能性表示食品「えんきん」が好調に推移したほか、「年代別サプリメント」の売上が伸長したことなどにより、増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は6,105百万円(前年同期比17.9%増)、店舗販売は3,744百万円(前年同期比5.8%増)、卸販売他は4,827百万円(前年同期比10.1%増)、海外は754百万円(前年同期比12.9%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収となったものの、前年同期に対しマーケティング費用を増加させたことなどにより、前年同期に比べて646百万円悪化し、1,026百万円の営業損失となりました。

③ その他関連事業

売上高

その他関連事業の売上高は3,600百万円(前年同期比4.9%増)となりました。

	平成28年3月期 前第2四半期連結累計期間	平成29年3月期 当第2四半期連結累計期間	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米	1,254	1,251	△0.2
青汁	1,363	1,367	0.3
その他	814	980	20.3
合計	3,432	3,600	4.9

営業損益

損益面では、増収となったことに加え、マーケティング費用の効率化に努めた結果、前年同期に比べて883百万円改善し、392百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて2,067百万円増加し、85,835百万円となりました。この要因は、流動資産の増加6,648百万円および固定資産の減少4,580百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加14,834百万円と、有価証券の減少8,006百万円であります。固定資産の減少の主な要因は、建物及び構築物の増加などによる有形固定資産の増加1,206百万円と、投資有価証券の減少5,528百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて927百万円減少し、13,200百万円となりました。この要因は、流動負債の減少917百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少305百万円、未払法人税等の減少168百万円および未払金の減少などによる流動負債「その他」の減少540百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて2,995百万円増加し、72,635百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加3,873百万円と、配当金の支払いによる利益剰余金の減少1,064百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から1.6ポイント上昇し、83.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は32,869百万円となり、前連結会計年度末より6,828百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は159百万円(前年同期は595百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益3,832百万円および減価償却費1,482百万円などによる増加と、投資有価証券売却損益4,440百万円および法人税等の支払額1,233百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は7,845百万円(前年同期は1,538百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、投資有価証券の売却による収入9,785百万円などによる増加と、有形固定資産の取得による支出2,020百万円などによる減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は736百万円(前年同期は3,570百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、自己株式の処分による収入375百万円による増加と、配当金の支払額1,062百万円などによる減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月27日の決算発表時に公表した平成29年3月期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしました。

(通期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
前回発表予想	102,500	12.8	3,000	149.1	3,100	118.0	6,200	—	99.00
今回修正予想	99,000	9.0	3,000	149.1	3,100	118.0	6,200	—	99.00

売上高は第2四半期連結累計期間までの業績動向および下期の出店計画の見直しを踏まえ、前回公表予想から3,500百万円減額いたします。

一方、各利益は、売上高の減額による影響はあるものの、マーケティング費用の効率化に加え、出店計画の見直しに伴う固定費の削減、全社的なコスト効率化に努め、前回公表予想を据え置くことといたします。

また、外部環境の変化および業績動向を受け、中期経営計画の戦略の一部見直しを行っております。発表すべき事由が生じたときには速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,034	32,869
受取手形及び売掛金	9,997	9,310
有価証券	8,006	-
商品及び製品	3,548	3,732
仕掛品	26	15
原材料及び貯蔵品	3,787	3,566
その他	2,969	3,529
貸倒引当金	△51	△58
流動資産合計	46,317	52,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,355	26,576
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,513	△14,271
建物及び構築物（純額）	10,841	12,305
機械装置及び運搬具	7,552	7,386
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,282	△6,187
機械装置及び運搬具（純額）	1,270	1,198
工具、器具及び備品	7,600	7,909
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,490	△6,575
工具、器具及び備品（純額）	1,109	1,333
土地	11,951	11,904
リース資産	386	380
減価償却累計額及び減損損失累計額	△227	△247
リース資産（純額）	158	132
その他	1,230	894
有形固定資産合計	26,562	27,769
無形固定資産		
その他	2,639	2,277
無形固定資産合計	2,639	2,277
投資その他の資産		
投資有価証券	5,656	128
その他	2,591	2,694
投資その他の資産合計	8,248	2,822
固定資産合計	37,449	32,869
資産合計	83,767	85,835

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,547	2,241
未払法人税等	898	729
賞与引当金	1,074	1,116
ポイント引当金	1,507	1,563
その他	6,115	5,575
流動負債合計	12,143	11,226
固定負債		
退職給付に係る負債	1,324	1,316
資産除去債務	385	408
その他	274	248
固定負債合計	1,984	1,974
負債合計	14,128	13,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	50,134	52,899
自己株式	△3,706	△3,245
株主資本合計	68,930	72,154
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	146	△5
退職給付に係る調整累計額	△166	△167
その他の包括利益累計額合計	△20	△173
新株予約権	729	653
純資産合計	69,639	72,635
負債純資産合計	83,767	85,835

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	43,192	46,164
売上原価	12,808	13,817
売上総利益	30,384	32,347
販売費及び一般管理費	30,267	32,948
営業利益又は営業損失(△)	116	△601
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	0	0
受取賃貸料	52	52
為替差益	4	-
雑収入	72	87
営業外収益合計	134	142
営業外費用		
固定資産賃貸費用	17	17
為替差損	-	46
貸倒引当金繰入額	0	0
雑損失	12	18
営業外費用合計	30	82
経常利益又は経常損失(△)	221	△541
特別利益		
固定資産売却益	0	0
新株予約権戻入益	1	34
投資有価証券売却益	-	4,440
匿名組合投資利益	36	-
特別利益合計	38	4,476
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	10	22
減損損失	-	59
店舗閉鎖損失	28	18
その他	8	1
特別損失合計	46	102
税金等調整前四半期純利益	212	3,832
法人税、住民税及び事業税	440	594
法人税等調整額	△355	△634
法人税等合計	85	△40
四半期純利益	127	3,873
親会社株主に帰属する四半期純利益	127	3,873

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	127	3,873
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	14	△151
退職給付に係る調整額	△6	△0
その他の包括利益合計	7	△152
四半期包括利益	135	3,720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135	3,720
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	212	3,832
減価償却費	1,521	1,482
減損損失	-	59
株式報酬費用	34	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	130	41
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	37	56
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△18	△9
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△88	-
受取利息及び受取配当金	△5	△3
為替差損益 (△は益)	△3	92
匿名組合投資損益 (△は益)	△36	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△4,440
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
固定資産除却損	10	22
店舗閉鎖損失	28	18
新株予約権戻入益	△1	△34
売上債権の増減額 (△は増加)	368	624
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,415	△36
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	172	141
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	0	5
仕入債務の増減額 (△は減少)	501	△281
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	550	△652
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	86	△11
その他	△49	△39
小計	2,032	873
利息及び配当金の受取額	5	3
法人税等の支払額	△1,443	△1,233
法人税等の還付額	-	197
営業活動によるキャッシュ・フロー	595	△159

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,641	△2,020
有形固定資産の売却による収入	0	78
無形固定資産の取得による支出	△580	△163
投資有価証券の売却による収入	40	9,785
匿名組合出資金の払戻による収入	620	-
貸付けによる支出	-	△5
子会社の清算による収入	-	183
その他の支出	△123	△70
その他の収入	146	58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,538	7,845
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	51	375
自己株式の取得による支出	△2,488	△0
配当金の支払額	△1,086	△1,062
その他	△46	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,570	△736
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△121
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,508	6,828
現金及び現金同等物の期首残高	30,659	26,040
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	301	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,453	32,869

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	25,990	13,769	3,432	43,192	—	43,192
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,990	13,769	3,432	43,192	—	43,192
セグメント利益又は損失(△)	2,588	△379	△1,276	933	△816	116

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△816百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	27,132	15,431	3,600	46,164	—	46,164
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	27,132	15,431	3,600	46,164	—	46,164
セグメント利益又は損失(△)	1,642	△1,026	△392	223	△825	△601

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△825百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。